

## 観点1 体制整備

特別支援教育は、インクルーシブ教育システムを推進する上で不可欠なものである。特別支援学校においては、地域の園、小・中学校、高等学校等の特別支援教育を推進する体制を整備していくための中核的な役割が求められている。具体的には、センター的機能として園、小・中学校、高等学校等の教員への支援や情報提供、発達障害を含む障害のある幼児児童生徒への指導・支援等が求められており、そのための体制整備が必要である。また、インクルーシブ教育システムの推進においては、関係機関との連携も欠かせず、そのための体制整備も重要である。

1-1 センター的機能を発揮するための体制整備	
取組の状況	
<input type="checkbox"/> (1) センター的機能を担当する分掌（例えば、地域支援部等）や組織を設けている。 <input type="checkbox"/> (2) 学校として果たすべきセンター的機能について学校経営方針に明確化している。 <input type="checkbox"/> (3) センター的機能の具体的内容について明確にしている。 <input type="checkbox"/> (4) 関係諸機関との連絡・調整のための体制をつくっている。 <input type="checkbox"/> (5) 地域内の園や学校からの相談に対して組織で対応できる体制をつくっている。 <input type="checkbox"/> (6) 地域内の園や学校に在籍している発達障害を含む障害のある幼児児童生徒への指導・支援に対応できる体制をつくっている。 <input type="checkbox"/> (7) 地域内の園・学校からの研修希望に対応する支援体制をつくっている。	
上記以外の取組	
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断 <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/> できていない > (* <input type="checkbox"/> 重点的に取り組む必要がある) * 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 (上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください)	

1-2 地域への理解・啓発	
取組の状況	
<input type="checkbox"/>	(1) 例えば、学校だよりや学校HP等で、地域住民に特別支援教育に関する理解・啓発を行っている。
<input type="checkbox"/>	(2) 地域住民に運動会や文化祭等の学校行事を案内している。
上記以外の取組	
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断	
<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/> できていない > (* <input type="checkbox"/> 重点的に取り組む必要がある)	
* 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 (上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください)	

1-3 地域の関係機関との連携のための体制整備	
取組の状況	
<input type="checkbox"/> (1) 設置者である都道府県教育委員会（市区町村教育委員会、特別支援教育センター、教育事務所等を含む）と連携するための体制を整備している。 <input type="checkbox"/> (2) 特別支援学校間で連携する体制を整備している。 <input type="checkbox"/> (3) 外部の関係機関（例えば、福祉、医療、労働関係機関等）と連絡・調整を図るための体制を整備している。	
上記以外の取組	
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断 <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/> できていない > (* <input type="checkbox"/> 重点的に取り組む必要がある) * 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 （上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください）	

1-4 管理職のリーダーシップ	
取組の状況	
<input type="checkbox"/> (1) 特別支援教育コーディネーターが業務に専念できるように、複数名を指名する等の配慮をしている。 <input type="checkbox"/> (2) 教員だけでなく、看護師や介助員等を活用できるよう配置している。 <input type="checkbox"/> (3) 特別支援学校教諭免許状を取得していない教員が、免許を取得できるような配慮をしている。	
上記以外の取組	
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断 <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/> できていない > (* <input type="checkbox"/> 重点的に取り組む必要がある) * 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 (上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください)	

## 観点2 施設・設備

障害のある幼児児童生徒が、安全かつ円滑に学校生活を送ることができることに加えて、災害時の地域の避難場所としての利用も想定して、校内環境のバリアフリー化を進めることが求められる。さらに、在校生をはじめ卒業生や保護者、地域の人々に学校の施設を開放することで、交流の場等としての有効活用も期待される。加えて、地域の園、小・中学校、高等学校等に整備している教育支援機器や教材教具等を貸し出すことでの有効活用も期待される。

2-1 校内環境のバリアフリー化	
取組の状況	
<input type="checkbox"/> (1) 学校内のバリアフリー施設・設備の整備状況を把握するために定期的に点検を行っている。 <input type="checkbox"/> (2) 学校内のバリアフリー施設・設備（多機能トイレ等）の整備に関する要望を、必要に応じて教育委員会に伝えている。 <input type="checkbox"/> (3) 災害発生時における学校施設の地域における役割を校内で共有している。 <input type="checkbox"/> (4) 災害発生時に特化した障害に対応可能なトイレや停電時でも医療用機器が利用できる防災設備（非常用電源等）の整備に関する要望を、必要に応じて教育委員会に伝えている。	
上記以外の取組	
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断	
<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/> できていない > (* <input type="checkbox"/> 重点的に取り組む必要がある) * 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 （上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください）	

2-2 卒業生や保護者、地域の人々への施設・設備の活用	
取組の状況	
<input type="checkbox"/> (1) 特別支援学校卒業生や地域の人々に、例えば体育館やプール等の施設を貸し出している。 <input type="checkbox"/> (2) 卒業生を対象とした研修会のために、校内の実習施設を活用している。 <input type="checkbox"/> (3) 特別支援学校卒業生と在校生の交流の場として、学校施設を活用している。 <input type="checkbox"/> (4) 卒業生や先輩保護者等によるピア・カウンセリングの場として学校施設を貸し出している。	
上記以外の取組	
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断 <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/> できていない > (* <input type="checkbox"/> 重点的に取り組む必要がある) * 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 (上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください)	

2-3 教育支援機器等の整備・活用	
取組の状況	
<input type="checkbox"/> (1) 教育支援機器や教材教具等の整備状況を把握している。 <input type="checkbox"/> (2) 在籍している幼児児童生徒に必要なICT等教育支援機器や教材教具等の整備についての要望を、必要に応じて教育委員会に伝えている。 <input type="checkbox"/> (3) 地域内の園、小・中学校、高等学校等の要請に応じて、教育支援機器や教材教具等を貸し出している。	
上記以外の取組	
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断 <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/> できていない > (* <input type="checkbox"/> 重点的に取り組む必要がある) * 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 (上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください)	

### 観点3 教育課程

小・中学校の特別支援学級や通級による指導、高等学校の通級による指導の実施に当たっては、特別支援学校学習指導要領を参考にして、特別の教育課程を編成することが可能である。そのためにも、特別支援学校においては、障害のある児童生徒の実態に応じた教育課程編成・実施の参考となる実践を蓄積していくことが期待される。特に、特別支援学校の教育課程に特別に設けられている指導領域である自立活動の指導の充実を図ることは、特別支援学級に在籍、または通級による指導を受けている児童生徒の自立活動の指導の充実につながる。

特別支援学校の教育課程の編成・実施においては、小・中学校、高等学校等の発達障害を含む障害のある児童生徒の学びの確保の視点から、「学びの連続性」を踏まえることが求められる。

3-1 自立活動の指導の充実	
取組の状況	
<input type="checkbox"/> (1) 障害のある個々の幼児児童生徒の障害の状態や特性及び発達の程度等を把握している。 <input type="checkbox"/> (2) 障害のある個々の幼児児童生徒のできることに着目している。 <input type="checkbox"/> (3) 障害のある個々の幼児児童生徒の実態把握に基づき、指導すべき課題を明確にしている。 <input type="checkbox"/> (4) 実態把握から手順を踏まえて、指導目標（ねらい）及び指導内容を設定し、個別の指導計画を作成している。 <input type="checkbox"/> (5) 自立活動の指導内容と合理的配慮の関係性を考慮して指導している。	
上記以外の取組	
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断 <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/> できていない > (* <input type="checkbox"/> 重点的に取り組む必要がある) * 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 (上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください)	



3-2 学びの連続性の重視	
取組の状況	
<input type="checkbox"/> (1) 学習指導要領の方針を踏まえて、教育課程を検討している。 <input type="checkbox"/> (2) 小・中学校と特別支援学校との間での柔軟な転学や、中学校から特別支援学校高等部への進学等の可能性を踏まえて、教育課程を検討している。 <input type="checkbox"/> (3) 知的障害のある児童生徒においては、特に必要のある場合には、実態を踏まえて、小・中学校の各教科の目標や内容を参考にして指導を行っている。 <input type="checkbox"/> (4) 学びの連続性を踏まえて、個別の教育支援計画を活用している。 <input type="checkbox"/> (5) 学びの連続性を踏まえて、個別の指導計画を活用している。 <input type="checkbox"/> (6) 教科等の内容の連続性を踏まえて、指導計画を作成している。 <input type="checkbox"/> (7) 障害の特性を踏まえた「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえて、授業改善を行っている。	
上記以外の取組	
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断	
<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/> できていない > (* <input type="checkbox"/> 重点的に取り組む必要がある) * 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 (上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください)	

## 観点4 指導体制

特別支援学校がセンター的機能を果たす上で必要不可欠な専門性は、外部専門家や関係機関と連携することで、その向上に努めることが大切である。こうした取組は、地域の園、小・中学校、高等学校等からの要請に応じる際に、ニーズに応じた情報提供や支援につながる。

4-1 外部専門家や関係機関との連携	
取組の状況	
<input type="checkbox"/> (1) 特別支援学校の専門性の向上のために、外部専門家（例えば、臨床心理士、言語聴覚士（S T）、作業療法士（O T）、理学療法士（P T）等）と連携している。 <input type="checkbox"/> (2) 外部専門家と事例検討会を行っている。 <input type="checkbox"/> (3) 外部専門家からの助言を校内全体で共有している。 <input type="checkbox"/> (4) 外部専門家からの助言を自立活動の指導に活用している。 <input type="checkbox"/> (5) 地域の園、小・中学校、高等学校等のニーズに応じた情報提供や支援を行うために、外部専門家や関係機関と連携している。 <input type="checkbox"/> (6) 他の特別支援学校と連携して、地域の園、小・中学校、高等学校等を支援している。 <input type="checkbox"/> (7) 地域の園、小・中学校、高等学校等への巡回相談の際に、外部専門家が同行している。 <input type="checkbox"/> (8) 関係機関（例えば、医療機関、福祉機関、企業等）と連携した相談会を実施している。	
上記以外の取組	
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断	
<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/> できていない > (* <input type="checkbox"/> 重点的に取り組む必要がある) * 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 （上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください）	

## 観点5 交流及び共同学習

交流及び共同学習は、障害のある幼児児童生徒が地域に根差して豊かな生活を送り、社会参加するために重要な教育活動である。このため、周囲が、日々の授業やスポーツ、文化・芸術活動等での交流を通して、障害のある幼児児童生徒の特性や可能性を知ること、また、障害のある幼児児童生徒と障害のない幼児児童生徒の相互理解を図ることが大切である。

5-1 交流及び共同学習の推進のための具体的な取組	
取組の状況	
<input type="checkbox"/>	(1) 学校独自で交流及び共同学習推進のための手引きやガイドライン等を作成している。
<input type="checkbox"/>	(2) 教育委員会、文部科学省等が作成している交流及び共同学習推進のための手引きやガイドライン等を活用している。
<input type="checkbox"/>	(3) 交流及び共同学習を推進するための分掌を校務分掌に位置づけている。
<input type="checkbox"/>	(4) 交流及び共同学習が継続的・計画的に行われるように、年間計画を作成している。
<input type="checkbox"/>	(5) 各教科やスポーツ、文化・芸術活動等を教育課程に位置づけて交流及び共同学習を実施している。
<input type="checkbox"/>	(6) 交流先と定期的に連絡会や協議会、打合せ等を行っている。
<input type="checkbox"/>	(7) 学校間交流を実施している。
<input type="checkbox"/>	(8) 学校間交流を行っている学校と、教員の付き添いや時間割を調整している。
<input type="checkbox"/>	(9) 居住地校交流を実施している。
<input type="checkbox"/>	(10) 居住地校交流を行っている学校と、教員の付き添いや時間割を調整している。
<input type="checkbox"/>	(11) 交流先と事後連絡会等を行い、課題を共有している。
上記以外の取組	
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断	
<input type="checkbox"/>	できている
<input type="checkbox"/>	どちらとも言えない
<input type="checkbox"/>	できていない
▶ (* <input type="checkbox"/> 重点的に取り組む必要がある)	
* 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 (上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください)	

5-2 地域への理解・啓発	
取組の状況	
<input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>	(1) 障害のある者となない者が相互に理解し合うための「心のバリアフリー」※学習を実施している。 (2) 地域資源を活用し、地域住民との交流を行っている。 (3) 放課後や休日に在校生や卒業生、地域の障害のある幼児児童生徒、地域住民等が気軽にスポーツ活動等に参加できるように学校を開放している。 (4) 放課後や休日に地域で開催するスポーツ大会や作品展示会等地域の活動に参加している。
上記以外の取組	
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断 <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/> できていない > (* <input type="checkbox"/> 重点的に取り組む必要がある) * 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 (上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください)	

※「心のバリアフリー」とは、学校における交流及び共同学習を通じた障害者理解（心のバリアフリー）の推進事業のことです。本事業は、障害者の権利に関する条約や障害者基本法の規定等を踏まえ、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催を契機として、障害のある子どもと障害のない子どもと一緒に障害者スポーツを行う、障害者アスリートの体験談を聞くなどの障害者スポーツを通じた交流及び共同学習を実施することにより、互いの個性や多様性を認め合える共生社会の形成に向けた取組につなげるとともに、インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進に資するものです。

## 観点6 移行支援

発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対しては、可能な限り早期から成人に至るまでの一貫した支援を行うことが求められている。このため、特別支援学校は、早期から発達障害を含む障害のある幼児や特別な配慮を必要とする幼児とその保護者に対して、相談に応じたり、必要に応じて支援を行ったりすることが必要である。また、発達障害を含む障害のある児童生徒の学びの場を柔軟に見直すことができることを踏まえて、必要に応じて転学に関する相談に応じることも求められる。さらに、発達障害を含む障害のある生徒の就労移行に関する情報提供も求められる。

6-1 就学・転学に係る相談・助言	
取組の状況	
<input type="checkbox"/> (1) 保護者に対して就学に関する情報提供を行っている。 <input type="checkbox"/> (2) 保護者に対して就学に向けた教育相談を行っている。 <input type="checkbox"/> (3) 保護者に就学先の学校見学等の機会を提供している。 <input type="checkbox"/> (4) 例えば、親子教室等を実施して、就学前の発達障害を含む障害のある幼児や特別な支援が必要な幼児とその保護者に対して支援を行っている。 <input type="checkbox"/> (5) 園からの発達障害を含む障害のある幼児の就学に関する相談に応じている。 <input type="checkbox"/> (6) 個別の教育支援計画の作成に当たって小・中学校の支援を行っている。 <input type="checkbox"/> (7) 必要に応じて、本人や保護者に対して転学に関する情報提供を行っている。 <input type="checkbox"/> (8) 必要に応じて、本人や保護者に対して転学に向けた教育相談を行っている。	
上記以外の取組	
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断	
<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/> できていない > (* <input type="checkbox"/> 重点的に取り組む必要がある) * 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 (上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください)	

6-2 職業教育・進路指導、就労に係る相談・助言	
取組の状況	
<input type="checkbox"/> (1) 高等学校の教員に対して、職業教育や進路指導についての助言を行っている。 <input type="checkbox"/> (2) 高等学校の生徒や保護者からの就労に係わる相談に応じている。 <input type="checkbox"/> (3) 高等学校の教員に対して、実習先や社会福祉施設を含む進路先についての情報を提供している。 <input type="checkbox"/> (4) 高等学校の教員に対して、就労支援機関に関する情報を提供している。 <input type="checkbox"/> (5) 特別支援学校が行う職業教育・進路指導に関する研修会や講演会を公開している。 <input type="checkbox"/> (6) 本人や保護者に対して、社会福祉施設を含む進路先についての情報提供をしている。 <input type="checkbox"/> (7) 個別の教育支援計画の作成に当たって高等学校の支援を行っている。	
上記以外の取組	
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断 <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/> できていない > (* <input type="checkbox"/> 重点的に取り組む必要がある) * 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 (上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください)	

## 観点7 研修

インクルーシブ教育システム構築のためには、全ての教職員が特別支援教育に関して一定の知識を有していることが求められる。特別支援学校においては、センター的機能として園、小・中学校、高等学校等の教員の特別支援教育についての専門性の向上やインクルーシブ教育システムに関する理解促進のための研修の実施や研修協力が求められる。このためには、特別支援学校の専門性の向上が不可欠となる。

7-1 センター的機能を発揮するための組織としての専門性の向上	
取組の状況	
<input type="checkbox"/> (1) 教員一人ひとりの専門性の状況を把握する仕組みがある。 <input type="checkbox"/> (2) 学校全体の組織としての強みや課題が明らかになっている。	
上記以外の取組	
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断	
<input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/> できていない > (* <input type="checkbox"/> 重点的に取り組む必要がある) * 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 (上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください)	

7-2 校内研修による専門性の向上	
取組の状況	
<input type="checkbox"/>	(1) 校内において専門性の向上に関する研修を実施している。
<input type="checkbox"/>	(2) 校内においてインクルーシブ教育システムに関する研修を実施している。
上記以外の取組	
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断 <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/> できていない > (* <input type="checkbox"/> 重点的に取り組む必要がある) * 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 (上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください)	



7-3 校外研修を活用した専門性の向上	
取組の状況	
<input type="checkbox"/> (1) 都道府県教育委員会等が主催する特別支援教育の専門性向上に関する研修に、教職員が参加している。 <input type="checkbox"/> (2) 都道府県教育委員会等が主催するインクルーシブ教育システムに関する研修に、教職員が参加している。 <input type="checkbox"/> (3) 研修を受けた教員が、研修内容を他の教職員へ伝達する機会を設けている。	
上記以外の取組	
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断 <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/> できていない > (* <input type="checkbox"/> 重点的に取り組む必要がある) * 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 (上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください)	

7-4 園、小・中学校、高等学校等に対する研修の実施・協力	
取組の状況	
<input type="checkbox"/> (1) 園や小・中学校、高等学校等の多様なニーズに応えられる研修プログラム、コンテンツを持っている。 <input type="checkbox"/> (2) 学校や地域で、特別支援教育やインクルーシブ教育システムに関する研修会や講演会を実施している。 <input type="checkbox"/> (3) 地域の園、小・中学校、高等学校等の教員も参加可能な校内研修会を実施している。 <input type="checkbox"/> (4) 園、小・中学校、高等学校等からの要請に応じて、特別支援教育やインクルーシブ教育システムに関する研修の講師を派遣している。	
上記以外の取組	
「取組の状況」と「上記以外の取組」をあわせた上での判断 <input type="checkbox"/> できている <input type="checkbox"/> どちらとも言えない <input type="checkbox"/> できていない > (* <input type="checkbox"/> 重点的に取り組む必要がある) * 左側の判断を踏まえて、今後、重点的に取り組む必要があると判断した場合に✓を入れてください。	
インクルーシブ教育システム構築の推進にむけた重点的取組の方策案 (上段で、「重点的に取り組む必要がある」と判断した場合に記入してください)	